木材ジャーナル名古屋・せいぶ

平成31年4月号　No.143

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

吉田重俊氏　旭日双光章受章記念祝賀会開催

平成31年２月25日（月）午後６時から「ホテルナゴヤキャッスル天守の間」において、昨年秋、多年にわたる木材産業の振興に寄与した功績により、旭日双光章を受章した吉田重俊氏の「受章記念祝賀会」が、一般社団法人愛知県木材組合連合会、名古屋木材組合、愛知県木材買方協同組合、海部木材組合の共催により開催され、来賓はじめ業界関係者など300余名が参加して受章を祝った。

祝賀会は、一般社団法人愛知県木材組合連合会嶺木昌行副会長の開会のことばで始まり、発起人代表として一般社団法人愛知県木材組合連合会会長、名古屋木材組合　西垣洋一組合長が、吉田氏の東海地区における数ある団体の要職として業界の発展に尽力した功績を称えた。

同発起人代表から吉田ご夫妻に記念品料、お孫さんの鈴木結稀さん、吉田薫さんからご夫妻に花束が贈呈された。

続いて、多数の来賓を代表して、大村秀章愛知県知事、石塚吾歩路愛知県議会議員、久野時男飛島村長、鈴木和雄一般社団法人全国木材組合連合会長から各々吉田氏の多年にわたる功績に対する受章に対し祝辞が述べられた。

その後、吉田氏から参会の皆様に対し、感謝の言葉に続いて「受章の際にも早々に祝意を沢山いただき、感謝いたします。50有余年、木材一筋で『住んで良し　心豊かな木の住まい』を生業にしてやってきました。これを機に気を取り直し更に頑張ります。」と述べた。

続いて、名古屋木材組合　吉田隆彦副組合長の乾杯の発声により、祝賀の宴に移り、吉田ご夫妻を囲んで祝賀ムードが会場を満たした。

その後、愛知県木材買方協同組合　竹内喜陽雄理事長より声高々に万歳三唱があり、最後に海部木材組合　木地孝嘉副組合長の閉会のことばにより祝賀会を終了した。

名古屋港木材産業協同組合 第44回通常総会開催される 新理事長に服部伸一氏

名古屋港木材産業協同組合の第44回通常総会が、平成31年３月26日（火）午後３時から名古屋港木材会館会議室で、委任状を含め56名の組合員が出席し、開催されました。

総会は、嶺木理事長を議長に選出し、つぎの議案を審議し、いずれも原案通り可決されました。

議事の概要

第１号議案　第43期事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案について

第２号議案　名古屋西部木材港開港50周年記念事業について

木材港開港50周年記念して記念植樹、記念誌の発行、祝賀会の催行などいずれも多くの方々の参加で盛況裡に行われました。

第３号議案　第45期事業計画・収支予算について

（事業計画の要旨）

⑴　名古屋港木材会館の会議室を組合員及び地域住民の利用に供する。

⑵　名古屋港西部臨海地帯の諸問題について、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会と、官公署の協議組織である「飛島村臨港地区連絡協議会」との協議により解決に努める。また、西部臨海工業地帯防犯協会を通じて、暴走族の排除、地域犯罪予防及び治安の維持、この地域の発展に努める。

⑶　名古屋港利用推進協議会を通じて、名古屋木材港の円滑な運営と利用促進を図る。また、組合員の貯木場や閘門の使用について、名古屋港管理組合と協議調整を行い、組合員の利便性向上を図る。

⑷　名古屋木材港再編整備協議会に出席し、港湾計画改定に反映させるため、将来の西部木材港の在り方について意見を述べる。

⑸　組合員の経営技術の改善向上、労働災害の防止のための情報を提供し安全パトロールの実施、「広報木材ジャーナル名古屋・せいぶ」を定期発行する。

⑹　組合員に対する福利厚生事業として、名古屋木材健康保険組合の事業を後援又は共催し、保険・レクレーション事業に参加する。

第４号議案　経費の賦課及び徴収方法並びに加入手数料その他決定について

賦課金	平等割（組合員一律）	20,000円
	面積割　１㎡あたり	２円
	水面割　１㎡あたり	１円

通常総会後に開催された理事会で、これまで10年間理事長を務められた嶺木昌行氏が辞任され、代わって服部伸一氏が新理事長に、副理事長に江口達郎氏がそれぞれ就任されました。

◆合縁木縁◆

「 恵まれた環境に感謝 」

母校では毎年８月に同窓会が開催され卒業生が年齢に関係なく一堂に会する。今年も例年並みの767名の参加となった。今回は我々の世代が毎年持ち回りとなっている幹事学年になるため、地元在住者を中心に一年前から準備に取りかかり毎月打ち合わせを行い当日に備える。遠方からの同級生は当日のみの参加となるが開始数時間前には集合して会の進行等のリハーサルを行う。同級生だけで120余名。高校を卒業して三十有余年、ほとんどが卒業以来の顔合わせとなる面々は、全然変わっていない者からまったく面影のない者まで見事に様々である。恐る恐る名前と顔を確認しながら時の経過を改めて実感しつつも、リハーサルを終えるとすぐ当時に戻ったように息つく暇もなくあちらこちらで近況報告などの会話が始まる。

定刻通りに始まったパーティーは、物故者への黙とうからスタートし、同級生のアナウンサーやテレビで活躍するコメンテーターが流れるような司会進行を行い、これまた同級生の日本舞踊や能、ピアノ演奏で会を盛り上げる。最年長の先輩へのインタビューや応援団OBによる演舞、最後に校歌の大合唱となり、ようやくお開きとなる。無事終了となり卒業生を見送ってから幹事学年のみによる宴へと続く。楽しく愉快な話もあれば辛い話が聞こえてきたりもする。色々な刺激を受け、励みになる。

今回の同窓会は「向日葵のように輝いて～永遠の18歳」というテーマが掲げられ、夢や希望にあふれていた当時の気概を想いまた明日から気分を一新して日々頑張っていこうという意味が込められている(と解釈しています)。今ではまったくご無沙汰となっている運動も、学生時代は部活動に熱中して動きまくっていた頃を今一度思い出し、とりあえずは毎日の散歩から始めて少しずつ走ってみようと思う。

人生いろいろ、今からまた夢や希望を持ってやろうかと考える今日この頃です。

次回は、㈱マルジン　稲垣 康文氏にお願いします。

◆自遊ご興見番◆

「 BCP(事業継続計画)の策定と整備を！ 」

「3.11東日本大震災」から８年が経ちました。各地で追悼の行事が執り行われる中、今なお苦しんでいる被災地の方々がいることに被害の大きさ、なにより自然災害の脅威を感じずにはいられません。

昨年を振り返りましても、西日本豪雨、記録的猛暑などの異常気象をはじめ大阪北部、北海道での大地震、そして、台風21、24号による全国各地への甚大な被害など2018年の漢字「災」に象徴される１年であったと思います。いつ、どこで、どんな災害が起きるかわからないところも自然災害の怖さであり、日頃から防災の意識を高める重要性を改めて痛感しました。

企業活動においても、物流の混乱や取引先の設備被害、大規模停電による現地拠点の事業停止や取引先被災に伴う材料調達難などの混乱が生じました。このような事態を最小限に食い止めるためには、今まさに企業内の危機意識を高める必要性が求められています。そのためにも、企業は多種類のリスクや災害を想定したBCP（事業継続計画）を策定する必要があります。

BCPとは自社にとって望ましくない事態（自然災害・大事故・不祥事など）が生じた際に、被害を最小限におさえつつ、最も重要なビジネスを素早く再開させることで、損害の発生を最小限に留めることです。何があっても事業を継続させるための事前計画と本番に向けた準備が、概念としてのBCPであると言えます。無論、人の命、社員の安全を守ることが最優先であることは言うまでもありません。私もまずは、自社の社員とその家族の命を守るための防災対策に取り組み、緊急時における備えを常に整備していけるよう心掛けていきたいと思います。

最後に、この記事を読んでくださった皆様の災害に対しての備え、対策を今一度講じるきっかけになれば幸いです。

名古屋：㈱清水陽介商店　専務取締役　清水俊晴

名古屋 広報委員：西垣友統（㈱山西）

事務局長交代のお知らせ

本年４月１日付で、名古屋港木材産業協同組合の柿内賢治事務局長が退任し、後任に多度博行氏が就任します。

ご挨拶

この４月に再び事務局長として木材産業界の発展に努力いたす所存です。今後とも、ご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

☆☆☆　西部臨海安全ニュース　☆☆☆

特殊詐欺被害防止の3ない運動にご協力を !!

蟹江警察署では、オレオレ詐欺、架空請求詐欺などの特殊詐欺被害を防止するため、

知らない番号の電話に出ない
キャッシュカードなどを渡さない
携帯電話で話をしながらATMを操作しない

の3ない運動を住民の方に呼びかけています。

また不審な電話やメール、ハガキには十分注意して、相手と連絡をとらないことが被害の防止になります。

◆ 広告コーナー

HEIAN

「プレカット」と「木工機械」の
平安コーポレーション

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-5-2

発　行　名古屋木材組合
発行者　西垣洋一
〒460－0017　名古屋市中区松原２－18－10
TEL〈052〉331－9386
FAX〈052〉322－3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発　行　名古屋港木材産業協同組合
発行者　服部伸一
〒490－1444　海部郡飛島村木場１－74
TEL〈0567〉57－2017
FAX〈0567〉57－2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会